

メンデルスゾーン

# 交響曲第2番「讃歌」

変ロ長調 Op.52

コーロ・ファーチレ

&

千歳フィルハーモニーオーケストラ

(第35回公演)

ジョイントコンサートⅢ

指揮：加納明洋

北広島混声合唱団 (賛助出演)

ジョイントコンサートⅠ



ジョイントコンサートⅡ



2003.5.18.千歳市民文化センター大ホール  
プーランク/スターバト・マーテル (北海道初演)  
フォーレ/レクイエム ほか

2005.5.8.札幌コンサートホール Kitara 大ホール  
メンデルスゾーン/オラトリオ「エリア」  
(北海道初演)

2017.

**4.30. (日) 13:30開演**

(13:00開場)

札幌コンサートホール Kitara 大ホール

札幌市中央区中島公園1番15号

●一般前売り:1,500円(当日2,000円) ●小・中・高校生無料(本チラシをご持参ください)  
(未就学児童の入場はご遠慮願います)

チケット取扱い / 【札幌】キタラチケットセンター、大丸プレイガイド、道新プレイガイド 【恵庭】たけやま書店  
【千歳】千歳市役所売店、ミナクル、エルム楽器、博信堂 【苫小牧】ヤマハミュージック北海道 苫小牧店

ソプラノⅠ独唱：芳野直美  
ソプラノⅡ独唱：五十嵐麻実  
テノール独唱：板谷俊祐  
オルガン：奈良知子

後援 / 札幌市、札幌市教育委員会、千歳市教育委員会、千歳音楽協会

主催 / コーロ・ファーチレ、千歳フィルハーモニーオーケストラ

お問合せ / 0123-28-1554(野村) <http://www.chitose-philharmonic.com/>

## ユーロ・ファーチレ *Coro Facile*

指揮は1989～'92年(故)上元芳男氏、'93年は横山直樹氏、'97年から加納明洋氏。合唱指導は(故)板谷基雄・奈良知子夫妻で行ってきたが、'14年より奈良氏の指導により活動している。

これまでの演奏曲は、ヘンデル「メサイア」全曲演奏、モーツァルト「レクイエム」、バッハ「マタイ受難曲」「マニフィカト」「カンタータ4番、140番、106番」「モテット3番」、モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」(道内初演)、D.ブクステフーデ「ミサ・プレヴィス」、D.スカルラッティ「スタバト・マーテル」など。千歳フィルとは、過去2回ジョイントコンサートを行い、プーランク「スタバト・マーテル」(道内初演)、フォーレ「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリア」(道内初演)を演奏している。



## 千歳フィルハーモニーオーケストラ *Chitose Philharmony Orchestra*

“多くの方々に気軽にクラシック音楽を楽しんでいただきたい”を合言葉に、1994年2月に設立しました。これまで34回の自主公演のほか、バラエティーに富んだ音楽教室など数多くのコンサートを開催しています。さらに小中学校での訪問演奏やイベント等での演奏活動も積極的に行い、その活動は札幌コンサートホールKitaraなど道内6都市に及んでいます。2008年には指揮者:小林研一郎氏を招き千歳市制施行50周年を記念する「炎の第九演奏会」を成功させ話題を呼びました。結成当時20人ほどであったメンバーも現在では3倍以上となり、96,000人のまちに60人以上を擁する本格的な管弦楽団、千歳フィルハーモニーオーケストラの活動は、市民はもとより音楽関係者からも期待と注目される存在となっています。



## 北広島混声合唱団 *Kitahiroshima Mixed Chorus*

北広島混声合唱団は1993年に発足し現在団員45名を数え、指揮亀田正先生、ピアニスト宮原明日美先生の指導のもと毎年開催される「北広島エルフィン音楽祭」「公民館まつり」など地域の活動に積極的に参加している。さらに、北広島市芸術文化ホールにてこれまで開催した12回の演奏会には、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」モーツァルト「戴冠ミサ」などの宗教曲を中心に、野村聡さんが主宰するモデラート合奏団、ユーロ・ファーチレの方々の協力を得て演奏活動を継続している。



## 指揮者:加納 明洋 *Akihiro Kano*

1956年、北海道小樽に生まれる。1980年、東京音楽大学指揮科卒業後、東京オペラプロデュースで音楽スタッフの一員を務める。その後、藤原歌劇団に副指揮者として加わり、数多くのイタリア人マエストロのもとで、ドニゼッティ、ヴェルディ、プッチーニの主要作品を勉強する。

1988年、イタリア、シエナに留学する。帰国後、二期会のイタリアオペラの主な公演の副指揮者を務め、多くは合唱指揮者を兼任した。1997年からフリーの指揮者となり、数多くのオペラ公演、コンサート等の指揮をしている。

また、2004年から作曲創作活動にも力を注いでいる。平成15年度第26回文化庁舞台芸術創作奨励賞に於いて「叙情合唱組曲<酒呑童子>混声合唱とピアノとマリimbaの為の」が創作奨励特別賞を受賞。また、無伴奏男声合唱組曲「ウシヨロ鯨漁師連禱歌」が第16回朝日作曲賞佳作入選を果し、2006年には管弦組曲「Negation of Peter's for Orchestra」が日本交響楽振興財団主催の第28回作曲賞の奨励賞に入選し、山下一史指揮、東京交響楽団にて初演された。更に、2007年には「作品番号の無い交響曲<鉄はいまだ成らず>」が前年度に引き続き日本交響楽振興財団主催の第29回作曲賞の奨励賞に入選し、小松一彦指揮、東京フィルハーモニー交響楽団によって初演された。また同年、ルクセンブルグ国際作曲コンクールにおいて3位入賞し、その作品はマルセル・ヴェングラー指揮、ルクセンブルグ・シンフォニエッタによって初演された。また、2016年ウクタイトナのリヴィウで行われた第1回アルフレート・シュニツケ国際作曲コンクールにおいて、Special Mention (特別賞)を受賞し、受賞作品「Corpus Sonans」はロマン・クレスレンコ指揮、ランポール・シンフォニエッタによって初演された。

現在、東京音楽大学指揮科講師(指揮部会所属)。



## ソプラノ I 独唱:芳野直美 *Naomi Yoshino*

J・S・バッハ「マタイ受難曲」「カンタータ51番」、モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」(北海道初演)、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「エリア」(北海道初演)、モーツァルト「レクイエム」等宗教曲のソリストを多く務める。来る5月27日キタラにてソロサイタルを開催する。2018年1月ドイツに留学。札幌大学女子短期大学部国文学科卒業。声楽を故・板谷基雄、鈴木寛一両氏に師事。札幌合唱団、JAF交通安全ドレミぐる一ふ所属。



## ソプラノ II 独唱:五十嵐麻実 *Mami Igarashi*

北星学園女子高等学校音楽科、北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース卒業。2012年全国学生音楽コンクール北海道大会3位、2013年同コンクール北海道大会1位、全国大会入選。大学在学中に、学内ソロ演奏会、室内楽演奏会、卒業演奏会に選抜され出演。また、Kitara主催によるサマーコンサート、星音会定期演奏会、札幌市役所ロビーコンサートなど道内で様々な演奏会でもソリストとして活動。平成27年度札幌新人演奏会に出演し札幌市芸術祭大賞を受賞。これまでに、歌劇「フィガロの結婚」伯爵夫人・ケルビーノ・花娘、歌劇「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、歌劇「蝶々夫人」「トスカ」いづれもタイトルロールを演じる。声楽を平野則子、野田廣志、萩原のり子各氏に師事。



## テノール独唱:板谷俊祐 *Shunsuke Itaya*

北海道余市町出身。幼い頃より合唱に親しみ、声楽を父である故・板谷基雄、鈴木寛一両氏に師事。宗教音楽を得意とし、これまでにバッハ「1番」「29番」他多数の教会カンタータ、「マニフィカト」、ヘンデル「メサイア」等でソリストを務める。

